

2024.07.07. 神の権威を侵害するとき

黙示録 2 章 18 節から 29 節

JD ファラグ牧師

主よ、ありがとうございます。一緒に祈りませんか？ 天のお父様、あなたに栄光をお捧げします。あなたの御名を祝福し、ハレルヤと叫びます！ 主よ、本当に感謝します。私たちはふさわしくありませんが、それでもあなたは憐れみ深く、恵み深く、大変愛に溢れるお方です。主よ、あなたは愛する者を正すと仰いました。ですから、あなたの御言葉に触れるとき、私たちに正さねばならないものがある時、語ってくださいますか？ 私たちに励ましが必要なら、与えてくださいますか？ 私たちに必要なのは愛かもしれません。主よ、あなたは私たちの必要をご存知です。どうか、私たちに与えてくださいますか？ 御言葉における私たちの時間を祝福ください。イエスの御名によって、アーメン。

アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。ご着席ください。ありがとうございます。来てくださり嬉しいです。オンラインの皆さんも参加くださり嬉しいです。始める前にですけど、来週の日曜日、7月14日の第二礼拝後、タマヨ・ペリーの人生の祝い（葬儀式）がノースショアで行われます。葬儀は午後3時30分から始まるので、参加されたい方は第二礼拝の後、十分な時間があります。牧師が長引かないことを前提に。牧師は葬儀の司式もするからです。が、ノースショアまで行くのに、第二礼拝後、十分な時間があるはず。3時30分に始まります。多くの方がご存知のように、タマヨは妻のアメリアと共に、私たちの教会の一員でした。私は彼と実際に話をしたばかりでした。この信じがたい悲劇と予期せぬ死の少し前に。私がそう言うのは、これをお願いしたいからです。どうか彼の妻、ご友人、ご家族、そしてノースショアの多くの人々のために祈ってください。彼は非常に有名です。今、本当に心が痛い。ただ衝撃です。私たちは教会の体として、この葬儀の機会の特権に与ります。イエスの光を輝かせてください。人々が本当にイエスの光を必要な時に。タマヨは多くの人々を、多くの人々が彼を知っていました。人々は福音を聞きます。が、彼らは本当にイエスが必要。ですから、どうか彼のご家族とノースショアの人々のために祈ってください。それでは、今日の箇所は「ヨハネの黙示録」2章18節から29節です。7つの教会宛の7つの手紙のうち、最も長い手紙であるティアティアラの教会を節ごとに見ていきます。開かれたら、可能な方はご起立いただき、御言葉を朗読するのについて来てください。ご無理なら、座ったままでも結構です。ヨハネは聖霊に導かれ書いています。実際に、この手紙はイエスご自身がヨハネにこれらの教会に手紙を書き送るよう指示され、文字通りこれらの教会に送られました。これは7通の手紙のうちの4通目で、ティアティアラ教会の御使い宛です。まさしく18節、

— ヨハネの黙示録 2 : 18 —

また、ティアティアラにある教会の御使いに書き送れ。『燃える炎のような目を持ち、その足は光り輝く真鍮のような神の子が、こう言われる—。

— ヨハネの黙示録 2 : 19 —

わたしは、あなたの行い、あなたの愛と信仰と奉仕と忍耐を知っている。また、初めの行いにまさる、近ごろの行いも知っている。さらに良くなってさえている。

— ヨハネの黙示録 2 : 20 —

けれども、(そのすべてにもかかわらず) あなたには責めるべきことがある。あなたは、あの女、イゼベルを

なすがままにさせている。(容認している) この女は、預言者だと自称しているが、わたしのしもべたちを教えて惑わし、淫らなことを行わせ、偶像に献げた物を食べさせている。

第一礼拝「聖書預言・アップデート」でそのことを話しました。

— ヨハネの黙示録 2 : 21 —

わたしは悔い改める機会を与えたが、この女は淫らな行いを悔い改めようとしない。

— ヨハネの黙示録 2：22 —

見よ、わたしはこの女を病の床に投げ込む。また、この女と姦淫を行う者たちも、この女の行いを離れて悔い改めないなら、大きな患難の中に投げ込む。

— ヨハネの黙示録 2：23 —

また、この女の子どもたちを死病で殺す。・・・(彼女に従う者たちを殺す。)・・・こうしてすべての教会は、わたしが人の思いと心を探る者であることを知る。わたしは、あなたがたの行いに応じて一人ひとりに報いる。

さあ、24節、

— ヨハネの黙示録 2：24 —

しかし、ティアティラにいる残りの者たち、・・・

私はこう描写できます。「よし、さっきのあなた方はおしまい。残りの者たちよ、、、」ここからが良くなります。

— ヨハネの黙示録 2：24 —

しかし、ティアティラにいる残りの者たち、この教えを受け入れず、いわゆる「サタンの深み」(いわゆるサタンの奥義：英新国際版直訳)

その奥義：神秘宗教、先週話した秘密結社、**を知らないあなたがたに言う。・・・**

皆、こうした異教の起源から生じました。留意ください。24節の最後を読んでから、補足でいくつかの翻訳を紹介します。

・・・わたしはあなたがたに、ほかの重荷を負わせない。

推論として、そこでの行いによって、彼らは大きな重荷を負わせられている。そして、25節、イエスは仰います。

— ヨハネの黙示録 2：25 —

ただ、あなたがたが持っているものを、わたしが行くまで、しっかり保ちなさい。

— ヨハネの黙示録 2：26 —

勝利を得る者、最後までわたしのわざを守る者には、諸国の民を支配する権威(キーワード)を与える。

— ヨハネの黙示録 2：27 —

彼は鉄の杖で彼らを牧する。土の器を砕くように。

— ヨハネの黙示録 2：28 —

わたしも父から支配する権威(キーワード)を受けたが、それと同じである。また、勝利を得る者には、わたしは明けの明星を与える。

そして、締めです。すべての手紙の締めと同じご方法です。

— ヨハネの黙示録 2：29 —

耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。』

祈りましょう。お父様、この手紙をありがとうございます。それが強烈であるのと同時に、それが聖書のここにあるのには理由があります。それが私たちがここにいる理由で、聖霊が語ることがおできになり、こんにちのあなたの教会である私たちにこれに関して、聖霊が語りたいことを聞く耳を持つためです。ですから、主よ、あなただけがおできになるように、いつも大変ご忠実に、この手紙を通して、私たちを導き助けてくださいますか？ 主よ、もっと重要なのは、聖霊によって、こんにちの私たちの生活へこの手紙で適応できることを。主よ、導いてくださいますか？ 私たちはこれをお願いします。イエスの御名によって、アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。今日、私が話したいことは、

『神の権威を侵害する時』

私たちがそうする時、そのような者たちを容認すると何が起こるのかについてです。私が告白せねばならないのは、この特定の教会に宛てたこの特別な手紙と本当に葛藤し、この手紙を教えるのは楽しみではありませんでした。それとは対照的に、フィラデルフィアの教会への手紙を教えるのが待ちきれません。それは2週間後です。来週はサルディスです。主の御心なら、2週間後、私たちがまだここにいるのなら、フィラデルフィアの教会への手紙です。はい～！！ ティアティラの教会への手紙ね、、、フィラデルフィアの教会への手紙はまだか。。しかし、神は。神はいつもあわれみ深く、恵み深いですね。神は私にあわれみ深く、私のために簡単にしてくださいました。神は私が必要なことをご存知です。私は正に非常に簡単なことを複雑にし過ぎる傾向があるからです。この大変長い手紙の全ての層を剥がした時、それについて本当に語られている内容は、『神の定められた権威構成を侵害する時』です。さらに悪いことに、「神の権威構成を奪い取るのを許す時」あるいは、言い換えると、「容認する」誰かが、神の権威を侵害し、弱体化させる。留意ください。手紙の中で、、、今からもっと話しますけど、強調されているのは、イゼベルのことだけでなく、イゼベルを容認し、イゼベルが導くのを許した教会の指導者たちです。導くではなく、誤った方向への導き。留意ください。イエスは仰います。「わたしのしもべたちよ。あなたがたは間違った方向に向かっている。彼女は間違った方向に導いている。彼女の教えは間違った方向、わたしのしもべたちよ。あなたがたはそれを容認している！！ あなたがたがそれを許している！！」

この表を概要からサッと見せたいのは、特定の単語「容認」を強調したいからです。概要から地図も参照し、いくつか指摘したいです。まず、注目ください。

ティアティラ、サルディス、フィラデルフィア、ラオデキア、全て内陸で、港町ではありませんでした。なぜそれが重要なのか？ 理由は、ティアティラは、港町でないため、製造業に頼らざるを得ませんでした。工業地帯でした。ローマ帝国のあらゆるものを生産する場所でした。染料で有名でした。紫色の染料で、作るのに大変高く、買うのはもっと高価、正に非常にレアでした。そこで製造業をしていました。商人ギルド（職業別組合）について話しましたが、それは終わりの日の教会と似て、非常に預言的です。労働組合とは違います。どんな職業にも商人ギルド（職業別組合）がありました。鉄工ギルド、染色ギルド、衣料品ギルドなど。そのすべてがここで行われました。地理的に港町でないため、輸出入ができなかったからです。さて、再び、これが重要な理由は、彼らは、この商業中心に頼らざるを得なかったからです。リディアという名の女性がそこに住み彼女の商売は有名で知られていました。「使徒の働き」16章に記録されています。14節と15節を読みます。これはすべて、私たちの理解を深めるために必要です。ですから、おつきあいでください。

ー 使徒の働き 16：14 ー

リディアという名の女の人が聞いていた。ティアティラ市の紫布の商人で、神を敬う人であった。主は彼女の心を開いて、パウロの語ることに心を留めるようにされた。

ー 使徒の働き 16：15 ー

そして、彼女とその家族の者たちがバプテスマを受けたとき、彼女は「私が主を信じる者だと思いでしたら、私の家に来てお泊まりください」と懇願し、無理やり私たちにそうさせた。

リディアの家はどこか？ ティアティラです。そこが彼女の職場でもありました。ですから、なぜそれを

指摘するのか？ ティアティラの教会は正に女性によって始められたと信じられているからです。必ずしもこのリディアではありませんが、イエスがイゼベルと呼んだ女性によって始まり、旧約聖書の邪悪なイゼベルになぞらえています。どうやらこのイゼベルは、神の定められた権威構成を弱体化させました。間違いなく、パウロはこの教会で役割を担っていて、しかし、このイゼベルが来て、人を指導する立場に置かれるのを許され、道を踏み外すように見えます。正にイゼベルが弱虫の夫アハブにしたことです。記述があります。第一礼拝で話した簡単な裏話をします。今日の私たちの理解に役立つと思います。これがイエスがこの女が誰であろうと、イゼベルと呼ばれた理由です。ここでイスラエルの王、アハブ王の登場です。北の部族、イスラエルの北の部族には良い王がいまませんでした。全ての王が邪悪でした。南ユダには、良い王が9人だけいて、「彼らは主の御目にかなうことを行った。」とされています。しかし、北イスラエル、北の王国は、アハブ王がいたところ、全ての王がしたことは、主の御目に邪悪でした。さて、アハブ王になると、彼は、イスラエルの北の部族の邪悪な全ての王たちよりも、さらに邪悪でした。うまく言えたことを願います。繰り返しませんから。アハブ王は大変邪悪でした。アハブは王、王エテバアルの娘イゼベルと結婚します。それがアハブ王の最初の過ちでした。イゼベルがしたことは、商人ギルド（職業別組合）という方法で、イスラエルの民を性的不道徳と偶像に献げた食べ物を食べるよう誘惑しました。再度、「聖書預言・アップデート」で、詳しく説明しました。これらは労働組合ではなく商人ギルド（職業別組合）で、参加せねばならない強制的な会合、偶像への献げ物として、食べ物が献げられていました。ぶどう酒を飲み、酔い潰れ、抑制が効かなくなり、最終的に、言うに耐えないほどの性的不道徳に行き着きます。彼らはぶどう酒を取り、その特定のギルドの神、異教の神に献げる祭壇の火に注ぎます。そして立ち上る煙は、その異教の神への祈りと崇拜。それが起こっていました。誰がアハブ王にそれを教えたのか？ このイゼベルです。イゼベルにそれを教えるのを許したのは誰か？ 教会の指導者たちです。イゼベルは、女を越える男性の権威を侵害し弱体化しました。その話に入るので、女性の方、どうか去らないでください。どうか。第一礼拝で話した後、考えたのは、第二礼拝は男性だけにしようかと。皆さんがここにおられて大変嬉しいです。祝福されることを願います。きっとね。今にわかります。で、起こったことは、アハブはある日、通りの向こうに、このぶどう畑を見ました。彼は、「あのぶどう畑が本当に欲しい。」そこで所有者のナボテにこう話しかけ尋ねます。

「おまえのぶどう畑を私に譲ってもらいたい。今すぐお前の畑が欲しい。」(I列王記 21:2参照)

ナボテは、「私がそうしたくても、できません。先祖のゆずりの地です。法律があり、できません。慣習として、私たちはそれを家族で保たねばなりません。」(I列王記 21:3参照)

で、ナボテがしたことは？ いや、アハブが。アハブ王は（宮殿に）帰り、泣き叫び、不機嫌になり不平を言い始めます。(I列王記 21:4参照)そして妻がやって来て、「あなた、何か問題でも？」「ナボテがぶどう畑を譲らないと言うんだ。」(I列王記 21:6参照)それに対して、イゼベルは興味深い返答をします。イゼベルはこう言います。「あなた、心配しないで。権威（王権）は私のものです。私があなたのために手に入れましょう。権威（王権）は私のものです。あのぶどう畑をあなたのために手に入れましょう。」(I列王記 21:7参照)

で、彼女は何をするのか？ 彼女は陰謀を企て、ナボテが神を冒瀆したと偽りの告発をしました。ナボテは裁判にかけられ、有罪となり、死刑（石打ち）になりました。そして、イゼベルは自分のしたことを終え帰宅しました。これは、どれほど邪悪ですか？彼女はこう言います。「あなた、ぶどう畑を手に入れたわよ。言ったでしょ。」エリヤはどうですか？ 思い出してください。イゼベルがしようとしたことを。エリヤの命に懸賞金をかけました。(第一列王記 18, 19章参照)「第一列王記」18章、エリヤが、バアルの神々との争いで、バアルの預言者450人を殺した後です。それを聞いたイゼベルは、すぐにエリヤを殺そうと命を狙いました。それがエリヤが大急ぎで逃げる時です。イゼベルは邪悪な女でした。あなたも私も、彼女を夕食に招待したくありませんって。間違いなく、彼女の夫を夕食に招待したくない。が、イゼベルが牛耳りました。彼女が主導権を握りました。彼女が支配しました。これがイエスがこの教会に対して、惑わされている人々に対して是正されること。もっと深刻なのは、教会の人々を騙し惑わすために、(指導者が)このイゼベルを容認していた。それが私の前置きでした。今までのところどうですか？ 大丈夫ですか？ よろしい。まだ誰も立ち上がって帰っていないので、、、私は見ません。もし帰られるなら、頭を下げ目を閉じます。この方法で始めたかった理由は、再度、この核に目を向けると、全て神が完璧に定められた権威構成に

ついでだからです。この教会で起こったことは、終わりの日の教会のように、無秩序を引き起こし欺き、分裂、そして最終的には死。これはどれほど深刻か？「もし悔い改めないなら、わたしはあなたを病の床に投げ込む。それが注意を引かず、悔い改めないなら、わたしは基本的にあなたを殺す。」ルンルンじゃない。でしょ？何が言いたいのですか？私が言いたいのは、これは神がレベルを上げられるほど深刻です。聖霊によって導かれヨハネはこの手紙を当時の教会へ、この終わりの日の私たちのために書きました。これはデジャブの繰り返しだからです。教会での神の権威構成は弱体化された。それを容認してきた教会の指導者に責任があります。ですから、この手紙から生じる5つの疑問を示すことで、少し異なるアプローチをします。神の定められた権威構成について。教会だけでなく、家庭においても。取り組む前に、こう前置きします。サタンは知っています。神の権威を弱め、家庭や教会における男の役割を無力化することができれば、、、それは勝利の欄に、勝利の欄にレ点。因みに、それがサタンの目標ですよ。サタンはこれをするのを探しています。ここがサタンの的(牛の目)です。これはサタンにとって究極。外側からではできないことを知っているからです。先週見たように外側から呪うことができなかつたバラム同様、よみの門も外側から教会に打ち勝つことができないからです。(マタイ 16:18参照)ですから、内部からせねばなりません。イゼベルを送り込んで、内部からせねばならない。呪いをかけることはできないが、バラムがバラクに教えたように、イゼベルに教えさせることはできる。バラムの教え、イゼベルの教えを教えさせるために。そこでバラムはバラクにこう教え言います。「私は彼らを呪うことはできないが、彼ら自身が呪いをもたらす方法を教えよう。モアブの女たちに誘惑させ、性的不道徳を犯させるのだ。」(民数記 24~25参照)

そして、彼らがそこにいる間に、彼らは、、、「おお、そうでしょ、お腹が空いているでしょ?」「あのプライムリブはおいしそうだね。偶像の献げ物だったことは知っているけど、、、」で、あなたは献げ物の肉を食べ始め、、、ボン! 神はそれを裁かれます。悔い改めなし。そう、バラムとイゼベルの道はほとんど似ています。二人共、神の民に教えていたからです。再度、興味深くないですか?神は「わたしのしもべたち」と呼んでおられます。「彼らはわたしの民であって、あなたの民ではない。」あなたは女預言者と自称している。女預言者、あるいは預言者って何か? 神のために語る人々です。「あなたはわたしのために語っていない。わたしはあなたを預言者とは呼ばない。あなたは自称しているけれど。あなたは間違った方向に導いている。あなたは指導的役割を担い、導き、間違った方向に導いている。わたしのしもべたち、わたしの民を。」

では、、、試してみ、、、やり直します。「試して」という言葉には気をつけています。その言葉には、たいいてい「失敗」という言葉が続きます。ですから、私はこれらの学びに最善を尽くします。できるだけ早く。しかし、ここで見逃してほしくありません。ここには私たちにとって多くのことがあるからです。OK?

こんにちのイエス・キリストの教会の中で大きな問題があります。18節と19節にある最初の質問から始めます。

1) 本当に神を自分の人生で最終的権威として見ているのか?

イエスがヨハネに書かせられたこの言及、すべて1章から見ても、この教会は特有です。実際、イエスが神の御子と参照されるのは、「黙示録」の中でこの時だけですが、しかし、イエスがそれを選ばれるには理由があります。神の御子は燃える炎のような目を持ち、その足は真鍮のようだからです。(黙示録 2:18参照)

彼らはそれが分かりました。何が分かったのか? 光り輝く真鍮も燃える炎も、神が最終的権威として

最後の審判を下される象徴です。ですから、私たちはこのことについて自問し、聖霊に心を探っていただく必要があると思います。「もちろん、神は私の人生の王座におられますよ。」「おお、本当?」時に、神は王座におられます。自分に正直になれば、私たちは神から権威を奪い侵害すると思います。それは、クリスチャンの人生において、良い言い方ではありませんが、物事がおかしくなる主な理由の1つです。私たちが決断するのは、自分が最終的権威であることに基づく。最終決定権、最終決定権を持ち、主に尋ねず、本当の最終的権威であられる主に従わず、委ねず、明け渡しません。時に、私たちがそうするのは、私たちがイエスの権威に服従するなら、イエスが何を語ろうとされているのか分かるからだと思います。確かに私たちの罪の性質においてはこう、私たちの罪の性質のすべてが、権威に服従することに苛立ちます。分かります?

始まりは（エデンの）園での女からでした。私が若い信者だった頃、聖書を学び、蛇がエバを欺き、呪いである罪がこの世に入り込んだ箇所の後を読みました。ちなみに、私たちは、聖書を通して思い起こします。神の呪いは女の上にあります。陣痛や出産の痛みだけではなく、それ以前は、出産に痛みを伴うことはなかったことを意味します。神は仰います。「あなたは夫を恋慕う。」（創世記 3：16 参照）

私は思います。「かっこいい〜！！妻が私を恋慕う。」それはそういうことを言っていない。女にかけられた呪いは、あなたの望みは、夫の権威を侵害すること。そう、キリストは男の頭であり、男は女の頭です。ところで、イエスは、これからお話するように、御父の権威に服従されます。秩序、神の定めによる権威構成、秩序がわかりますか？ 誤解しないでください。これがちょうどいい機会だと思います。これで始めるべきだったかもしれません。聞いてください。ミニストリーでの女性の役割、あるいは、家でさえもです。からかっているんですか？ あなたの役割は非常に重要です。実際、この神の教会に召された女性たちが、この教会で各々の役割を奉仕されていなければ、私は今、ここに立っていないでしょう。家庭という文脈からそれを取り上げてみましょう。私に妻がいなかったら、男が一人でいるのは良くありません。（創世記 2:18）

その箇所は私のために書かれました。神は私を見下ろしてこう仰った。「これは良くない。良くない。」創造物をご存知ですね？「神はそれを良しと見られた。」（創世記 1：21 参照）神は私を創造され、「良し」とされませんでした。今のは良かったですか？ 妻の皆さん、公平ですか？ これが衝撃だと見るかもしれませんが、それは聖なる衝撃です。あなたは夫の権威を侵害したくないからです。夫が家庭において、権威としての責任を放棄するなら、あなたは踏み込まねばなりません。それは違う話です。そういうことを話していません。それはまた別の機会の別の説教です。すぐには無理です。約束します。「第一コリント人への手紙」11章で、すでに説教しました。それについて、すぐに話します。聖書の中で、牧師が教えるのが最も難しい章の1つです。牧師が局所的に教えるのは当然です。「第一コリント人への手紙」11章には誰も触れないからです。そんな風に見ないでください。まだ説教中です。説明します。

質問 2 つ目：20 節です。私がこのような言い回しや質問をするのには理由があります。

2) 女性に、男性の権威侵害を容認するのか？

興味深いのは、イエスが仰るご方法です。ヨハネに、この手紙をこのように書かされ、イエスはイゼベルに責任を押し付けておられません。イゼベルはイゼベルのままです。それがイゼベルがしたことです。イエスが問題にしているのは、教会でそれを許していること。あなたは容認している。あなたは女性が牧師になるのを許している。おお、これはよく聞かれる質問です。非常に頻繁に。「女性が牧師になることについてはどうお考えですか？」（女性は）できません。じゃあ、次の質問。ー（笑）ー

「なぜできないのですか？」神の定めた権威構成を侵害するからです。旧約聖書で、夫は女性を覆っていました。女性が男性の権威に覆われてなければ、女性は絶望的な貧困とおそらく売春の人生を送ることになります。それは貧しい未亡人であることは、ほとんど死刑宣告に等しかった理由です。こんにちに至っても、私の文化、中東のアラブ人は、それが彼らが結婚を事前に取り決めた理由です。もしあなたに娘がおられるなら、彼女を養い、守るために、彼女を覆う男性と結婚させる必要があったからです。それが神の定められた方法だからです。男性の皆さん、おそらく言及すべきだと思います。それが真実だからです。私たちはこの世に生きていますが、これは驚くことなのかわかりませんが、私たちはこの世に生きていて、手段を選ばず、その背後にはサタンがいます。男の男らしさを中性化するために。男性はどこですか？ 彼らは屈辱を受け、骨抜きにされ、中性化されました。ここで良い言葉を使っていますか？ ー（笑）ー

ほとんどコーシャ(kosher/適正)じゃありません。より良い言葉ではありませんが。神に与えられた権威を実行するため、立ち上がってこう言う男がどこにいますか？「私がこの家の男だ!!!」そんなことはしないでください。それって、、、 ー（笑）ー それが私の国です。それが私の国です。善意ある独裁国家ですが、「私が権威だ。」それが意味するのは、私は家庭の権威として神に答えねばならない。私は責任を問われるのだ。聖句を読むとそれが語るのは、自分の家族の世話をしない者は、不信心者よりも劣っている。(1 テモテ 5：8 参照) それはかなり深刻です。神はそれを真剣に受け止めておられます。それは家庭内のことで、教会ではどうですか？ これは神の教会です。あなたはイゼベルが入って来て男の権威を侵害するの

を許し容認するの？ それが十分悪いことでなければ、イゼベルはわたしのしもべたちを欺き、性的罪を犯すことを教えています。はい、そう、第一礼拝で話しました。再度、話すのが適切だと思います。お気付きですか？ 特に SNS、おもにユーチューブで、自称預言者とそのユーチューブチャンネルが著しく増えたのを。ええ、本当に。睨まないでください。いいですか？ そして、私が話すのは、最近のこと、もちろん、2020年以降であることは間違いありませんけど、それよりもっと最近だと思います。彼女たちは、牧師あるいは預言者と自称する女性たちです。間違えました。なぜクリックしたのかわかりません。すべきじゃなかった、、、私が感じたのは、木曜夜の「ダニエル書」8章で、幻がダニエルに示された後、彼は気を失い、何日も具合が悪くなり、床から起き上がれなくなりました。私は、胃が痛かったのです。文字通り胃が痛かった。彼女たちは幻があって、「神は私に示された～何々何々何々何々。必ず購読して、「いいね！」ボタンを押してください。」

誰も、イゼベル・チャンネルと名付けないのが不思議です。それがそうすべきことだから。かつては健全に聖書を教える教会であったにもかかわらず、男性よりも女性が教えることを容認する教会が増えているのはどうですか？ いいえ、パウロがテモテに勧めたように、女性は、若い女性や子供たちに教える必要があります。しかし、女性が男性より上に立つことは、ほとんど神に対する反逆です。それはつまり、息子が父親の上に立つということだからです。イエスは父の権威に服従する私たちの完璧な模範です。男はキリストの権威に服従し、女は男の権威に服従する。それが神の命令で、私たちはそうあることを願います。しかし、サタンは偽りの父として入り込み、嘘をつきました。女はその嘘を買い、男はその嘘を容認する。「今は違う世界に住んでいるからね。それはちょっと古いよ。」じゃあ、私は古い人間なんでしょう。「おお、それは昔の宗教です。」いいでしょう。私は昔の宗教について話しているんですよ。「いや、それは保守的、古いです。」古い？ 新しいのなんて知りません。古いのをさせてください。ここ（聖書）には、新しいのなんて見当たりません。OK。皆さん、先に進む前に、神から与えられた権威を真剣に受け止めてください。男になってください。男になってください。おじけづいたり、ためらったりしないでください。あなたには、神から定められた権威が与えられています。それを悪用しないで、使うのです。ご存知、、、あ”～、、、私には女性の、、、これは本土の話です。これが誰なのか詮索しないでください。牧師として女性たちに言われたことがあります。「私は、夫が私より権威を持ってくれることほど嬉しいことはありません。」なんだって？ それに神が女性を設計された御方法だからです。男の権威の下にあること。彼女らは劣っているのではない。女性は劣っていません。そうではなく、ご存知、男が優れているのでもなく、実際、私たちは共同相続人です。男性の皆さん、ペテロが言ったことを覚えていますか？ 実際、新約聖書で、原語のギリシャ語が、この特定の単語が使われているのはこの時だけで、あなたが妻と共に住み共同相続人として理解する箇所です。あなた方は神の御目には平等です。(1 ペテロ 3参照)

そうでなければ、あなたの祈りは天井から跳ね返ります。キリストにある共同相続人として妻を扱っていないなら。彼女はあなたと平等であり、劣っているわけではありません。ある人の表現が大好きです。神が人/男を創造したとき、女も創造されました。でしょ？ 私はこう言いたい時、うお！なんてこと！ — (笑) — 何と、男から？ 文字通りの解釈です。しかし、神はアダムの脇腹から肋骨を取り、男の助け手として彼の花嫁を創造されました。男の上にある頭からではなく、下にある足からでもありません。しかし、この脇からです。彼の隣にいたために、平等であるために。ですから、男性の皆さん、もしあなたが権威を乱用したなら、そして、あなたの妻が心を閉ざし、あなたの権威に服従するのを拒否するなら、それを主に持つていく必要があります。それがあなたの家庭や結婚生活、家族の問題の多くを説明できるかもしれないからです。ですから自問し、聖霊に私たちの心を探っていただきましょう。女性に、男性の権威への侵害を容認することについて。こんにちの若い世代が権威に敬意を払わないのはどうですか？ そのことについては、始めたくもありません。親として、皆さんのうち何人が、、、聞いているだけなので、手を挙げないでください。修辭的です。子供たちにこう言ったことがある方々は何人いますか？ 私が父と母にそんな風に話していたら？ (挙手したのは) 5人ですね。私の母はよく私に言ったものです。「私があなたをこの世にもたらしたから、この世から連れ出すこともできるのよ。」昔なら、こう言ったでしょうね。●◆▼✕「私は、両親とそんなふう話すことは決してなかった。」ちなみにこれは、終わりの日のしるしである預言的兆候です。子供たちが親の権威を軽んじるようになる。ごきげんよう。さらに悪くなります。イエイ！ 再度、3つ目の質問に進む前に、、、進みますけど、私は同じ質問を違う方法で聞いてみます。私たちは容認しているのか？ 権威の侵害だけでなく、間違った方向に導いたり、権威の侵害での欺瞞をも。心が痛みます。私はただ率直

にあなたに言いたいのです。ある時、カルバリー・チャペル運動で、これは問題ではないと考えたのでしよう。なぜこれについて話すのに時間を費やすのか？ 今、カルバリー・チャペルの中には、女性が牧会者の役割を果たすことに傾き始めているところもあると聞いています。3 つ目です。

3) 悔い改めなければ、何が起こるか分かっているのか？

ですから、私たちはこういう状況で、、、留意ください。神はイゼベルを容認する者たちにも責任を問われます。つまり、彼らにも等しく責任がある。しかし、神の恵みに注目ください。神は悔い改める時間を与えられます。これほどまでのことを仰います。わたしは彼女と彼女に従う者たちに悔い改める機会を与えたが、悔い改めようとしなさい。(黙示録 2 : 21 参照)

「実際、わたしは彼らの注意を引くためにあらゆることをしました。誰もが滅びることは、わたしの御心ではないからです。すべての人が悔い改めに辿り着いてほしい。」悔い改めとは何か？ これは大きく誤解されている言葉です。180 度考えを変えろという意味です。あなたが思いを変えれば、神はあなたの心を変えてくださいます。それはあなたの思いを変えろのためです。悔い改めなければ何が起こるのか？ 繰り返しますが、これは神の御目において極めて深刻です。神の権威に反するからです。結果は何か？ まず、神が必要と判断され、ティアティラで悔い改めようとしなさい人々に仰ったように、わたしはあなたを苦しみの病の床に投げ込む。(黙示録 2 : 22 参照) つまり、病で床にいるあなたは外に出ることができず、病によって、神はあなたの注意を引こうとしておられます。なぜ神はあなたの注意を引こうとしておられるのか？ あなたは悔い改める必要があるからです。それが効かないなら、神はあなたを家に連れて帰られるかもしれません。自分の死を目の当たりにするところです。ご辛抱ください。またこの話に戻るからです。4 つ目の質問は、24 節と 25 節にあります。

4) 私はイゼベルを保つ/受け入れ続けるのか、それともイエスが来られるまで今持っているものを保つのか？

これは言葉遊びのようなものですが、イエスは仰います。「あの女の教えを受け入れない者たち残りの者たちがいる。」もちろん、私たち全員は、私たちは自分自身を最も好意的な光で照らし出します。もちろん、私たちはティアティラの人々の中で、このことに巻き込まれなかった残りの人々の 1 人に数えられると。ですから、残りの私たちに、イエスは今、私に話しかけておられるんだ。じゃあ、私たちの前にある質問は、あなたは、イゼベルの教えを保っていないかったが、質問は、注意ください。イエスが仰っているのは、

「あなたがたは持っているものを、わたしが行くまで、しっかり保っているのか。」(黙示録 2 : 25 参照)

彼らは何を持っていたのか？「あなたが持っているものを保ちなさい。」わかりました。不動産ポートフォリオ、投資ポートフォリオを保ちます。そうじゃない！ 彼らが持っていたのはイエスだけでした。ある人が言ったように、「イエスがあなたの必要なすべてだと知るまでは、イエスがすべてだとは分からない。」それが彼らが持つすべてでした。イエスが仰るのは、「あなたは、イゼベルの教えを保っていないかった/受け入れていなかった。あなたは容認しなかった。しかし、その代わりに、、、私が神の御言葉を愛する理由はここにあります。いつも「その代わり」があります。「悪から離れ、代わりに義を追い求めなさい。その教えを保つのではなく、わたしにしがみつきなさい。わたしがあなたのすべてです。わたしが来るまで保ちなさい。」その言葉「until/～まで」を、私たちは読み過ぎてしまいがちで、それがそこにあって本当に良かったです。預言のタイムスタンプを手に入れたからです。私たちは将来の楽しみに待つポイントがあります。ほとんど、イエスが仰っているのは、しっかり保ちなさい。それまで、もう少しだけ。それまでって？ わたしが来るまで。おお～、、、それが私が聞く必要がある全てです。それは、今日ここにいる私たちに向けられた言葉だと思います。それが今日の「聖書預言・アップデート」(第一礼拝)の学びのタイトルでした。「聖書預言・アップデート」というより預言の学びでした。

『イエスが来られるまでしっかり保つ。』

保ちなさい。多くの人々が戦いに疲れきっているのはわかります。あなたは、当時のティアティラの彼らのように重圧の下にいます。今の私たちも同様です。でも、屈服しないでください。黙従してはいけません。

ただ保ち続けてください。「わたしは来るからです。」サッと、補足的に最初の3つの教会は：エペソ、スミルナ、ペルガモンです。イエスはご自身の来臨についてまったく言及しておられません。私がフィラデルフィアを本当に楽しみにしている理由は、イエスがご自身の来臨について言及されているからだけではなく、教会が7年の患難時代を経験しない証拠がある。以上。フィラデルフィアの教会に宛てた手紙にあります。今は読まないでください。まだ説教中です。しかし、最後の4つの教会は、その意味は何か？ 聞いてくださり嬉しいです。その意味は、、、ティアティラから始まり、サルディス、フィラデルフィア、ラオディキアの4つの教会は、主が来られる前の終わりの日の教会を表します。さもなければ、なぜイエスはご自身の来臨を言及されます？ ティアティラ教会がカトリック教会を代表すると信じる人もいます。主の御心なら、来週学ぶサルディスは、教会史の観点から、プロテスタント教会を代表します。その点で説得力のある議論ができます。私はその方向には進みません。むしろ、信者の体の中で、深刻な結果を招く可能性のある問題に私たちの焦点を向けたかったのです。これは非常に深刻な問題です。教会であろうと、家庭であろうと。妻よ、あなたが夫の権威を不必要に侵害するとき、神から与えられた権威や責任を夫たちが放棄していないのに、あなたは、子供たちに何を教えているのですか？ こんにちの子供たちが権威を尊重しないのも無理はありません。何を教えられたか、ではなく、何を掴むのか。子供は、母親が父親の権威を侵害するのを見て育ちます。すると、彼らは何をするのか？ 彼らは成長し、権威を侵害します。悔い改めてください。悔い改めてください。最後の質問、5つ目です。

5) 最終的権威を与えるのは神だということを、私は理解しているのか？

この手紙の皮肉な結末は、イエスが明確にはっきりさせておられます。神が、権威を唯一与えられるお方です。言い換えられると、イゼベルの権威の侵害を容認する者は、不必要に権威を侵害し、自らの危険を招くことになります。神が最終的権威を与えられるからです。正しい秩序で神が与えようとおられるのに、奪おうとするようなものです。あなたは今、それを奪おうとしている。あなたはそれを侵害しようとしている。それを神から受け取る代わりに、神から奪っている。それがわかりますか？ 言葉遊びじゃありません。あなたは自分の手で問題を解決しようとしています。一方、イエスは、ある者たちが求める権威を喜んで与えてくださいます。そうしながら、ある者たちがイエスが御父から与えられた権威を侵害し、容認する。これは、、、あゝ～、、、皆さん、ごめんなさい。私はここで最善を尽くしています。聖書箇所、神の御言葉を学び、準備し、教えるとき、それがわからなくなることはありません。詳細を捕える時、私はそれを見逃しません。：「わたしの御父がわたしにくださったように、わたしもあなたにそれを伝えます。わたしは神からそれを奪いません。わたしは神からそれを受けました。なぜ、わたしが喜んで与えるものを奪おうとするのですか？ しかし、それはわたしのタイミングです。あなたのタイミングではない。わたしが究極の権威だからです。」

OK。ほとんどおしまいです。ご忍耐ください。前述の「第一コリント人への手紙」11章に注目ください。いえ、本当は注目したくありません。本当に注目したくありません。これを思い出したくありませんが、思い出す必要があります。その理由は、「第一コリント人への手紙」11章を要約すると、この手紙はティアティラの教会宛てです。実際、それは、「第一コリント人への手紙」11章全体が、権威に関して、このティアティラへの手紙と類似しています。私たちは「第一コリント人への手紙」を学びました。何年前だったか忘れられました。おお、なんてこと。この章に至った時、私は1000回死にました。なんと教えるのが難しい章でしょう。1節から16節まで、手始めにどうです？ パウロは、教会で頭に被り物することによって、女性たちが男性の覆いと権威の下にとどまるよう戒めます。それは、男性が女性を覆っていることの象徴でした。もちろん、それは文化的なことでした。しかし、原則は権威構成でした。ですから、コリントの教会で起こっていたのは、女性たちが入ってきて、頭を覆っていなかったということ。なんと類似しているのでしょうか。彼女らは頭を覆わず預言をしていました。ええ、神はこの女に預言の言葉を与えられるかもしれません。それは問題ではありません。それについて話しているのではなく、私たちが話しているのは、頭を覆わない時についてです。これは当時の話です。心配しないでください。大丈夫です。ちょっと待って。なぜ私はこれをしているのか？ これを教え直しているなんて。これを思い出して、非常に速くピクピクし始めます。— (笑) — 娼婦たちは頭を剃り、短髪にしていました。それは恥でした。パウロは「第一コリント人への手紙」で語ります。髪が長くないのは女性として恥ずべきこと。髪がないのは男性にとって恥ずかしいことだと思いますけど、それは私の問題です。— (笑) — しかし、パウロは男が長い髪であるのは恥だとも語ります。なぜ？ それが表すことを象徴しているからです。そう、長い髪が女性を覆います。男性の皆

さん、長い髪にできます。それは問題ありません。実際、私はそうすることを勧めます。私は代理人を通して体験します。それいかが？ でも、いや、ちょっと変じゃないですか？（まず、見まわした方が良さげです。ね。）ウェーブの長い髪を腰まで伸ばしているような男を見かけたら、、、後ろから彼を見たら、「おお〜。」みたいな、そして、その人が振り向くとヒゲが生えている。あなたは、「ほおお！」—（笑）—

残念。（苦笑）それがパウロが語っていること。そう、髪は、男性が女性を覆う覆いの権威の象徴でした。ですから、最初の16節は、、、すでにフラッシュバックしています。パウロがこの教会を叱咤激励する内容でした。とにかく、非常に是正的な手紙です。しかしパウロは、女性たちが頭を覆わず、髪を短くし、神の定められた権威構成に違反するとして、彼女たちを正します。反抗的な態度で、まるでこう言うかのようです。「私はどんな男にも覆わせたくないわ。私は女！」おお、それは、、、例えが古すぎますか？ ほら、かわいそうな男がいて、「私は家族で主導権を握っている。」（直訳：私は家族の中でズボンを履いている。）私の妻は私に言います。「だけど、どのズボン？」—（笑）— 「私は家の頭だ。」私の妻が首なのを除いてはね。彼女は私に曲がる方向を教えてください。それは悲しいです。私たちは、神から与えられた権威について謝る必要はありません。真理を知らしめれば、あなたは私たちが権威のうちにいてほしい。申し開きせねばならないからです。私たちの仕事が欲しいの？ またね。あんたみたいになりたくないわ。「A」について神に申し開きするとき、なぜ夫の権威と神の定められた権威構成を侵害するのかを。しかし、2つ目「B」、あなたがその役割を引き受けたので、じゃあ、申し開きは？ 私は娘に夫の権威を侵害することを教えました。先行きはどうですか？ あなたにとって良い結果にはなりません。もう十分だと思っていた矢先でした。パウロはそれをまったく新しいレベルに引き上げます。再度、17節から34節まで、ティアティラ教会への手紙と類似しています。どうやらこの教会は、キリストの体を非常に粗末に扱っているようです。彼らはポットラックで酔っ払っていました。彼らはそれを愛の祝宴、あるいはアガペーの祝宴と呼びました。彼らは食べながら、、、小さな会合、言わば、ギルドでした。彼らは入れませんでした。「おお、お前は、、、うーん、我々の仲間じゃない。誰が招待した？ なぜここに座っている？」コリント教会にはあらゆる階層の人々がいましたが、当時、ローマ帝国の奴隷であった人々が大半でした。ですから、そのアガペーの祝宴での食べ物が、彼らの1週間で唯一の食事でした。で、それが彼らが教会に来て、パンを裂き、この愛の祝宴を持つ時が。ここにそんな人たちがいて、あなたを見てこう言う。「ポットラックに何を持ってきた？」「フオークです。」（緊張しながら）彼らときたら、彼らには財力があるから、食べ物を持ってきます。そして、彼らは会合を形成します。そして、人々は空腹のまま家に帰りました。こっちの会合は全員、満腹で酔っ払って帰っていきました。パウロは彼らに向かってはっきりとこう言います。「酔いたいなら家で酔いなさい。食べたいなら、、、この貧しい人々は、キリストにあるあなたの兄弟姉妹です。お腹を空かせて家に帰り、食べさせないのか。これがあなた方がしていることか？ これはキリストの体です。キリストは体の頭です。あなたはキリストの体を不当に扱っている。ですから、悔い改めなさい。神の食卓にふさわしくないものを与えているからです。」悔い改めないなら、どうなると思いますか？ パウロは、あなた方が病気になった理由はそのせいだと言います。あなたは病の床にいる。神は、あなたが悔い改めるように、あなたの注意を引こうとしています。それでもあなたの注意を引かないなら、パウロは語ります。あなた方の何人かは死にかけてさえいるのは、それが理由です。ティアティラのように。なぜか？ 理由は、神は、、、ほとんどおしまいです。ご忍耐感謝します。神は2つ以上のことをされています。これはイエスの体であり、教会であり、民であり、わたしのしもべだからです。まず第一に、イエスは彼らを導かれ、守っておられます。イエスの花嫁に危害と危険をもたらす恐るべき脅威となる者は誰でも、イエスはそれを取り除かねばなりません。イエスは病の床で彼らの注意を引こうとされましたが、それはうまくいきませんでした。ですからイエスは、彼らを家に帰らせ、主の体である教会から取り除かねばなりません。彼らがこれ以上、害を及ぼさないために。彼らはキリストの体に計り知れない損害を与えていたからです。この深刻さを理解していますか？ このことがティアティラでどれほど深刻だったかわかりますか？

神がなさる2つ目は、教会を害する者、脅威となる者から教会を守っておられます。ですから、神は彼らを家に連れて行かれますが、しかし、神は家に連れ帰る人にも恵みを示されます。どうやってそれが分かるのか？ 彼らがおの方法で続けるなら、彼らは自分たちが、申し開きをせねばならないことをさらに積み上げることになる。ですから神は、ある意味、彼らを助けておられます。旧約聖書の例です。それは厳しいですが、真実です。神はアンモン人に400年の悔い改めの期間を与えられましたが、彼らは悔い改めませんでした。人々は、神が厳しい神であると誤解します。違います。神は恵み深い神であります。もしあなた

が、、、この例を使います。うまくいくことを願います。あなたが犬を飼っていて、狂犬病にかかっています。その運命はすでに決まっています。あなたはその犬を安楽死させます。それが、子供たちを守ることにもなります。その犬に噛まれたら非常に深刻なことになるからです。それが神のなさることです。神は、、、彼らの運命はすでに決まっています。ですから、神は憐れみをもって、彼らがさらに裁きを積み重ねることから安楽死させます。しかし同時に、神の教会に害を及ぼす人々から神の教会を守っておられます。これは再度、本土での話をシェアします。はるか昔、はるか彼方の地で、このイゼベルによく似た女性がいました。それは、、、私の権威、執事の権威、幅牧師の権威を弱体化させ、大混乱に陥れました。私はまだミニストリーに入ったばかりです。これをどうしたらいいのかわかりません。私は容認できません。難しいことをせねばなりません。ですから私たちは、「マタイの福音書」18章15節、16節、17節に従い彼女と一緒に座らねばなりません。段取って、彼女に悔い改める機会を与え、彼女を納得させようとしていました。それはうまくいきませんでした。イエスはこう仰いました。「彼女を取税人と同じように扱いなさい。」彼女とは没交渉でした。ですから私たちは基本的に言いました。「あなたはここでは歓迎されません。あなたはもうここでは歓迎されません。あなたはこの教会に多くの損害を与え、この信者の体に脅威を与えているからです。」

それから間もなくのことでした。私は親友からメールをもらい、伝えられたのは、彼女はRV車四輪バギーで不慮の事故で亡くなったと。神が彼女を家に連れて行かれました。天国で彼女に会うでしょう。神に感謝します。「私たちは今後、肉に従って人を知ろうとはしません。」(II コリント 5：16 参照)

非常にうれしくないですか？ 互いが誰なのかわかります。尋ねておられる方、名札は必要ありませんよ。しかし、私たちはこの地上の器、肉体にいたときのようにお互いを知ることはありません。神に感謝します。神よ、ありがとうございます！ しかし、神はそれが必要だと考えられる。本当に興味深いのは、彼女は以前からガンを患っていたことです。それは彼女の注意を引きませんでした。そして、神は、パウロが11章でコリント教会に書いたとおりのことをされました。イエスは、ヨハネに「黙示録2章」でティアティラの教会に手紙を書かされました。この一節で締めくくっていいですか？ 最悪を最後まで取っておきました。「第一テモテへの手紙」2章11節から14節です。ぜひ、その箇所を開いて下さい。聖書を見ていただきたいのです。女性の方々。いやいや。余計でしたね。ごめんなさい。「第一テモテへの手紙」2章11節から、

— 1 テモテ 2：11 —

女は、よく従う心をもって静かに学びなさい。

— 1 テモテ 2：12 —

私は、女が教えたり男を支配したりすることを許しません。むしろ、静かにしていなさい。

ここに理由です。

— 1 テモテ 2：13 —

アダムが初めに造られ、それからエバが造られたからです。

— 1 テモテ 2：14 —

そして、アダムはだまされませんでした、女はだまされて過ちを犯したのです。

おしまいです。カポノ、上がってきてください。私はただ、、、 — (笑) — ここで置いておきます。この後、何を言います？ ご起立ください。祈りましょう、でしょ？ ご起立ください。それから、祈りましょう。それではっきり分かるでしょ？ 私たちはいつもメールを受け取ります。「女性が教会の牧師になることについては、どのようにお考えですか？」マジ？ あなたは、私のとは違う聖書を持っているのですか？ 私がそれを言うとき、皮肉っぽいとわかりますが、それは何についてです？ 女性は権威ある男性の上に立つべきではないことが、あなたは理解できませんか？ そして、なぜあなたは文化に屈服し、神の権威を侵害するのですか？ あなたは自分の危険を顧みず、そうするのです。神はあなたの最善の益を考えておられます。神はあなたのために、この権威構成を設定されました。それはあなたの益のためです。それは妻が夫に従うためです。それが定められた方法です。人はキリストを自分の頭、権威として従わねばなりません。これはあるべき状態です。あえて言います。締めくくります。皆さん、立っていますね。あえて言うなら、多

くの症状です。問題ではありません。結婚生活で夫婦が経験している多くの症状、教会で、問題、症状で、問題ではありません。こんにち、多くの教会で見られる症状は、この問題の表れです。牧師の権威構成が侵害された。最後にもうひとつ言いたいことは、再度、これは非常に重要だからです。男性の皆さん、これだけの権威を与えられたら、慎重になったほうがいいです。多くを与えられた者は、多くを求められるからです。(ルカ 12 : 48 参照)

あなたは神に申し開きすることになります。この地上で、祈りが妨げられるだけではなく、あなたが妻をきちんと扱わず、理解して一緒に住まず、共同相続人として扱わないなら、あなたが妻に対する権威と権力を濫用しているなら、おお、キリストの裁きの座では、あなたのそばにはいたくありません。なぜなら、私が思うのは、、、どうやってそのまま、、、？ 私、どうです？ このまま置いておくべき？ 私に終わってほしいからそう言うんでしょ？ わかりました。止めます。

お父様、これは厳しいことですが、それは、おお、非常に難しいです。しかし、主よ、私たちが聞きたいことは、、、私たちは、御霊が語られることを聞く耳を持ち、聞きたくてうずうずすることを聞くだけのため、聞きたいことだけのための耳は欲しくありません。私たちはこれを聞きたくないかもしれませんが、聞く必要があります。主よ、この手紙をありがとうございます。厳しいですが、私たちにとっては大変良いです。今日の残り、1週間、そして人生に私たちはそれを生かしたいのです。聖霊によって、特にあなたの権威構成に関して、今すべてがカパカヒ/曲がっていることに気付いている人たちのために、あなたがそれを適応していただきますように。主よ、この構成/仕組みに感謝します。私たちは構成/仕組みだけでなく、権威も必要です。主よ、ありがとうございます。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリー・カネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7